

令和4年度入学者選抜学力検査問題

国語

注 意

- 1 監督者の「始め」の合図があるまでは、開いてはいけません。
- 2 検査時間は、9時25分から10時15分までの50分間です。
- 3 大きな問題は全部で5問で、表紙を除いて7ページです。
また、別に解答用紙が(1)、(2)の2枚あります。
- 4 監督者の「始め」の合図があったら、すぐに受検番号をこの表紙と解答用紙(1)、(2)のきめられた欄に書きなさい。
- 5 答えは、必ず解答用紙のきめられた欄に書きなさい。
また、特に指示のあるもののほかは、各問いのア、イ、ウ、エのうちから最も適当なものをそれぞれ一つ選んで、その記号を解答欄の()の中に入れてください。
- 6 答えの字数が指示されている問いについては、句読点や「 」などの符号も字数に数えるものとします。
- 7 監督者の「やめ」の合図があったら、すぐやめて、筆記用具をおきなさい。

受 検 番 号

番

1

次の1から7までの問いに答えなさい。

1 次の——線の部分の読みをひらがなで書きなさい。

- (1) 彼女は礼儀正しい人だ。 (2) 健やかに成長する。
- (3) 商品が陳列されている。 (4) 社会の変化が著しい。
- (5) 稚拙な文章。

2 次の——線の部分を漢字で書きなさい。

- (1) ごみを毎日ヒロウ。 (2) バスのウンチンを払う。
- (3) お茶をサましてから飲む。 (4) 偉大なコウセキを残す。
- (5) 親しい友人とダンショウする。

3 「今にも雨が降りそうだ。」の——線の部分と文法的に同じ意味・用法のものはどれか。

- ア 目標を達成できそうだ。 イ 彼の部屋は広いそうだ。
- ウ 祖父母は元気だそうだ。 エ 子犬が生まれるそうだ。

4 次の——線の部分について適切に説明したものはどれか。な

- お、

A

・

B

は人物を表している。

昨日、

A

は初めて

B

にお目にかかった。

- ア 尊敬語で、

A

への敬意を表している。
- イ 尊敬語で、

B

への敬意を表している。
- ウ 謙讓語で、

A

への敬意を表している。
- エ 謙讓語で、

B

への敬意を表している。

5 次のうち、文の係り受け(照応関係)が正しいものはどれか。

- ア この商品の良い点は、値段が安いところが素晴らしい。
- イ 高校時代の一番の思い出は、校内球技大会で優勝した。
- ウ 私の将来の夢は、生活に役立つものを発明することだ。
- エ この話は、おばあさんの家に子供が住むことになった。

6 「無人」と熟語の構成が同じものはどれか。

- ア 登場 イ 連続 ウ 不要 エ 往復

7 次の二首の和歌の□には同じ語が入る。適当なものとはどれか。

東風吹かばにほひおこせよ □ の花あるじなしとて春を忘るな

(菅原道真)

雪降れば木ごとに花ぞ咲きにけるいづれを □ とわきて折らまし

(紀友則)

- ア 梨 イ 梅 ウ 藤 エ 竹

次の文章は、「先生」のもとに集まった人々が「見こし入道」という妖怪について語っている場面である。これを読んで1から5までの問いに答えなさい。

一人のいはく、「先つころ、大宮四坊門(注1)のあたりに、和泉屋介太郎とかやいふ者、夜更けて外より帰りけるに、門あはただしく叩アきければ、内より驚きてあけぬ。さて介太郎内へ入るとひとしく、人心なし。さまさまの気つけなど吞カませければ、やうやうに生きかへりて云ウふやう、『我れ帰るさに、月うすぐらく、ものすまじきに、そこそこの辻(注2)にて、みかさあまりなる坊主、後よりおほひ来りし程に、すはやと思ひて逃げければ、いよいよ急に追ひかけしが、この門口にて見失ひぬ。それ故かくのごとし。』と云ひければ、聞く人、皆驚きて、『さてさて、あやうきことかな。それこそ見こし入道にて候はん。』と云ひて、舌ぶるひしてけり。この事、まぢかき事にて、その入道に逢ひし人、ただ今もそこそこに。」と云へば、一座の人、いづれも怖おそしき事かなと云へるに、

先生、評していはく、「このもの、昔より一名を高坊主とも云ひならはせり。野原墓原などにもあらず、ただ在家の四辻、軒の下の石橋などの辺はらより出づると云へり。これ愚かなる人に臆病風のふき添ひて、すこすこ歩ける夜道に、氣の前より生ずる處ところ、影ぼうしなるべし。その故はこの者、前よりも来らず、脇よりもせまらず、後より見こすと云へば、四辻門戸(注5)の出入、あるひは夜番の火のひかり、月星の影おぼろなるに、わが影法師、背高くうつろふと、さてこそと思ひ、氣をうしなふとみえたり。」〔百物語評判〕から

(注1) 大宮四坊門||京都市の地名。

(注2) 辻||十字路。「四辻」も同じ。

(注3) みかさ||三丈。一丈は約三メートル。

(注4) 墓原||墓が点在する野原。

(注5) 四辻門戸||警備のため町々にあつた門。

1 云ウふやう は現代ではどう読むか。現代かなづかいを用いて、すべてひらがなで書きなさい。

2 アア叩イき 逃げ 追ひかけ 見失ひ の中で、主語が異なるものはどれか。

3 介太郎内へ入るとひとしく、人心なし の意味として最も適当なものどれか。

ア 介太郎は門から中に入ると突然、心を閉ざした。

イ 介太郎は門から中に入ると同時に、氣を失った。

ウ 介太郎は門から中に入るとすぐに、我に返った。

エ 介太郎は門から中に入ると急に、緊張が解けた。

4 この事、まぢかき事 の説明として最も適当なものはどれか。

ア 見こし入道が町に現れるという話は間違いだということ。

イ 見こし入道の話をすると本当に会ってしまうということ。

ウ 見こし入道と出会うのは本当に幸せなことだということ。

エ 見こし入道が現れるのは身近な出来事であるということ。

5 「先生」は「見こし入道」の正体を、どのようなものだと説明しているか。次の文の空欄に当てはまるように、二十字以内の現代語で答えなさい。

夜道を歩いているとき、臆病な気持ちによって

次の(A)、(B)の文章は、三井秀樹「形の美とは何か」の一節である。これらを読んで、1から5までの問いに答えなさい。

(A)

私たち日本人の祖先は自然美を師にその美しさを模倣し、その美しさを自分たちの手で書き記したり、絵を描き記録しようとした。この日本人の創造の心が自然主義的な美意識を育み、世界に誇る日本の美術・工芸品をつくりあげてきた。私たちは日常、自然界のさまざまな形に接し、生命の尊さや内に秘めた自然のエネルギーを感じるとる幼児体験をつみ重ねながら、形の美しさを受けとめる感性を培ってきた。このように感性の形成には自然界のつくりだす形の影響が深くかかわっていると思われる。

日本の文化は根底に自然が在り、自然主義といわれるわけも、よく理解できる。水墨画や山水画とよばれる東洋画に現れた東洋の自然思想、ことに日本人の自然観は、自然と接しながらも自然は人間と対峙する関係にあり、つねに自然を征服しようとする人間の強い意志が文化の裏側に脈々と流れている西洋の思想とはまったく正反対である。

人間至上主義の西洋の芸術表現に見る自然の対象は、あくまで、人間を主体とする表現の従属的な存在であり、装飾のモチーフとしては多用されているものの、決して表現の主體的なモチーフにはなりえなかったのである。

日本美術では名もない野草や昆虫や小動物が表現の主役を演じる場合も少なくない。十九世紀中頃、西欧に強烈なジャポニスムを巻き起こし、印象派絵画に影響を与えたのは、斬新な余白を活かした構図や斜めのコンポジション、平面的な描写ばかりでなく、自然の景観を愛しいほどに描写し、野草や小動物までも、表現の主役としてしまう日本人の自然主義の徹底ぶりであった。西欧の人々は、はじめは驚き、奇異な目で眺めていたものの、ついには彼らに欠けていた精神性を自覚し、やがて日本人の目指す自然主義的

な感性に共感しはじめたのである。

(B)

自然と人間の関係が薄れた理由は、私たちが自然と接する機会が少なくなり、自然のすばらしさや美しさを実感することさえ、忘れてしまったということが挙げられる。IT(情報技術)が産業界の中核となった現代社会では、コンピュータや映像メディアが氾濫し、人々は自然との直接体験よりも、プリント・メディアや映像メディアを通して二次元的な情報選択との接点が圧倒的に多くなり、また、こうした情報収集で満足してしまうのである。さらにテレビゲーム、コンピュータ・グラフィックス、インターネットの映像情報、現実との境界を曖昧にしてしまった映像のバーチャル化が、人々に自然を受け入れる余裕さえ、見失わせてしまったのである。

自然の美しさに応える感性さえ持ち合わせていない現代人に、美しい形がつけられるはずもなく、形の美しさを語る資格もないのではないだろうか。

そのような現代人でも旅にでて偶然自然の美しさに気づくことがある。悲しいかな、その美しさはテレビやメディアで見る自然と二重写しとなって、やはり自然の美しさは複製にすぎないと悟るのである。そこには実体験した感性も、強力なデジタル万能の映像メディアに吸引され、同化されてしまうのである。

科学が発達していなかった工業化以前の社会では、道具や生活用品はすべて手づくり生産であり、デザインという概念はもちあわせていなかった。道具や器の形は必然的に使いやすく、使用目的に合致したものでなければならず、結果的に長い時間をかけて少しずつ無駄のない形に改良されていった。これは機能を追求した形となり、結果的にどれも美しいのである。

これはまさしく風化した岩石が川に流れ、下流にいくにしたがい小さくなり、角がとれて滑らかな形となるプロセスと同じである。こうして生々流転をくり返しながら、絶えず移り変わる大自然の

法則によって、万物の形が形成されていくのである。自然を支配する見えない秩序の法則が、それぞれの形を美しくつくりあげるように、もっと人間は になってこの自然界の造化の原理を、ここで再び見直すべきではないだろうか。

つまり自然がつくりだす形が美しいのは、自然の法則に逆らわず、気の遠くなるような長い時間的な経緯を経て、少しずつ改良されていく機能を満たした形であり、結果的に無駄のない形となるから、ということが出来る。それゆえ、私たちはもっと自然の存在を真摯に受け止め、かつて先人たちが自然を美の発想の原点としたように、自然がつくりだした形や色・テクスチャから形の美を探るべきであろう。
(二井秀樹「形の美とは何か」から)

(注1) モチーフ||題材。

(注2) ジャポニスム||十九世紀にヨーロッパで流行した日本趣味。

(注3) コンポジション||構図。

(注4) テクスチャ||質感。

1 まったく正反対である。とあるが、西洋と日本それぞれの思想にもとづく芸術表現における自然の対象の捉え方の違いを、筆者はどのように説明しているか。五十五字以内で書きなさい。

2 ② 実験した…同化されてしまう。とあるが、その説明として最も適当なものはどれか。

- ア メディアで見る自然にしか美しさを感じられなくなり、実際の自然を見てもすぐ映像として記録してしまうということ。
- イ 自然と触れ合う体験をしてはじめて、実際の自然とメディアで見る自然との美しさの違いを思い知らされるとのこと。
- ウ 実際の自然を見てもメディアで見る自然が思い起こされ、自然本来の美しさを感じ取ることができなくなるとのこと。
- エ 実際の自然を見て自然本来の美しさに気づくと、メディアで見る自然の美しさが作り物としか思えなくなるとのこと。

3 に入る語として最も適当なものはどれか。

- ア 傲慢
- イ 寛大
- ウ 貪欲
- エ 謙虚

4 次の図は、(A)と(B)の文章から読み取れる筆者の考えをまとめたものの一節である。後の(1)、(II)の問いに答えなさい。



(I) に入る、(A)と(B)の文章に共通して用いられている語を、本文中から二字で抜き出さない。

(II) 美しい形 について、「自然界のつくりだす形」や「手づくり生産の道具や器の形」がともに美しいのはなぜだと筆者は考えているか。四十字以内で書きなさい。

5 (A)と(B)の文章の関係について説明したものとして最も適当なものとはどれか。

- ア (B)は、(A)で述べられた考えを踏まえて論を展開している。
- イ (B)は、(A)で提示された具体的な例を集約して述べている。
- ウ (B)は、(A)で述べられた主張と対立する見解を示している。
- エ (B)は、(A)で提起された問題を異なる視点で分析している。

次の文章を読んで、1から6までの問いに答えなさい。

高校三年生の「俺」は離島(大島)の高校で陸上部に所属し、目標にしていた関東大会出場を決めた。関東大会の会場へ向かう日の朝、「俺」は中学三年生の弟(本文中では「翔」と顔を合わせ、どこに行くのか尋ねる。

翔はあまり言いたくなさそうだったが、しばらく歩調を合わせて歩いていたら誤魔化し続けるのも面倒になったのか、やがて「牧場。」と突き放すように言った。

「牧場？」

「二、三年前に島に来た若い酪農家がいるんだ。塚本さんって言うんだけど。たまに手伝わせてもらってる。」

歩きながら、ぼつり、ぼつりと付け加える。

「大島って、昔は東洋のホルスタイン島なんて呼ばれてさ。すごい酪農が盛んだったんだ。千頭以上牛がいたって。だけど大手メーカーとの価格競争に負けて、だんだん衰退していった。今は島の特産品っていうポジションでなんとかやってるけど、正直人数足りてないし、後継者がいなきやいつまでもは続けられない。」

大島の酪農の現状なんか、考えたこともなかった俺は、黙って聞いていた。一度しゃべりだすと、翔はダムが決壊したみたいにしゃべり続けたので、もしかするとずっと俺に話を聞いてほしかったのかもかもしれないと思った。あるいは、両親に。家族に。身近な人間に。

「俺、大島の牧草地で牛がのびのびと過ごしてる風景がすごい好きでさ。」

……ああ。そういえば。

小さい頃、牧場へ行くと、翔は放っておくといつまでもずーっと一人で牛を眺めていた。のんびりと、草を黙々と食んでいる牛に合わせて、自分は何を食べているわけでもないのに一緒に口をもぐもぐと動かしていた。青い空と、緑の牧草と、白い牛。その中に、赤いシャツを着た翔がぼつんと立っている風景。

あの頃からもう、翔には自分の将来が見えていたのかもしれない。

「翔は、酪農家になりたいのか。」

「最初はそれだけ守ればいいって思ってた。でも酪農を勉強してみるとさ、そんな単純で簡単な問題じゃないなってすぐわかる。塚本さんのやっつけること見てたら、牛一頭面倒見るのだって楽じゃないんだなって。まあ、そりゃ当たり前なんだけどさ、なめてたっていうか……景色を守るってことは、そういうことなんだって思わされた。自分がその景色の一部になるってことなんだなって。」

翔は熱に浮かされたみたいにしゃべり続ける。俺はなんとなく、俺にとつての空斗さんが、翔にとつての塚本さんなんだろうなと思う。

「親父たちは反対してる。言ってることもわかるよ。でも俺は……。」

急に言いよんだ翔の頭に、俺はぼんと手を乗せた。

人と人との関わりって、バトンパスみたいなのかもなと思う。バトンはもらった瞬間から、渡すことが始まる。俺はもらうばかりだから、あんまりわかってないけど、自分という存在が誰かに何か影響を与えるってことは、そういうことなんじゃないのかな。誰かからもらったものを、パスする、みたいな。受け売りってやつ。ちよつと違うかな。でも似てるんじゃないかな。

まあ、えらそうに言えるほど、自分もできちゃいない。でも少なくともこの言葉は、リレーのことがなかったら、絶対に言えなかった。

「俺は翔がやりたいようにやればいいと思う。」

翔がこつちを向いて、目を見張った。

「あー、いや、こないだと全然違うこと言ってるのは自覚あるけどさ……。」

酪農は、動物に依存する職業だ。自然と同調して生きる道だ。ましてや大島は火山島で、気まぐれな自然に寄り添い、逆らうことなく、そういう不安定な要素と折り合いをつけて生きていかなければならない。自分の身一つでどうにもならないことが、たくさんある。

それは、生き物と自然に人生を捧げるということ。甘っちょろい覚悟でできることじゃない。そういう意味じゃ、両親の反対は決して間違っていない。

「けど、なんでそういうこと考えたのかも知らずに否定するのって、やっぱ違うかなと思う。少なくとも俺は、翔の話聞いて生半可な覚悟じゃないんだなって思ったし、じゃあ信じてみようって思った。」

翔は黙っている。俺は翔の方を見る。

「父さんたちにも、そこまでしつかり話したか？」

「いや……。」

「もう一回、きちんと話してみろよ。だめそうなら、俺も一緒に話すよ。」

背中を強めに二度叩くと、翔がつんのめって、「いてえって。」と呻いた。

元町港近くの十字路で立ち止まる。

俺は港の方へ行く。翔はたぶん島の北の方へ行くのだろう。一緒に歩けるのはここまでだ。 (天沢夏月「ヨンケイ!!」から)

(注1) ホルスタイン牛の一品種。

(注2) 空斗さん「俺」が所属する陸上部の先輩。

1 それ の指す内容を本文中から二十一字で抜き出さない。

2 熱に浮かされたみたいにしやべり続ける とあるが、「俺」から見た「翔」の様子説明として最も適当なものどれか。

- ア 酪農に対する強い思いを夢中になつて話している。
- イ 酪農を志す自分の未来を自信を持って話している。
- ウ 酪農を学んで得た知識を誇りを持って話している。
- エ 酪農に興味を持ったいきさつを平然と話している。

3 俺はほんと手を乗せた とあるが、このとき「俺」が「翔」に伝えようとしていることの説明として最も適当なものどれか。

ア リレーを通して、人から影響を受けることの危うさを学んだので、「翔」に自分の意志を貫き通す大切さを伝えようとしている。

イ リレーを通して、人は周囲と関わり合うことで成長すると気づいたので、「翔」の決意が理解できたことを伝えようとしている。

ウ リレーを通して、自分が周囲に与えた影響の大きさを実感したので、「翔」の夢の実現に専念したいことを伝えようとしている。

エ リレーを通して、「翔」が人から影響を受けていることを知ったので、自分で考えて行動することの価値を伝えようとしている。

4 翔の話……思った とあるが、「俺」がそう思ったのは「俺」が酪農家としての生き方をどのように捉えているからか。文末が「という生き方」となるように、本文中から十三字で抜き出さない。

い。

5 もう一回、きちんと話してみろよ とあるが、「俺」が「翔」に両親にもう一度きちんと話すよう勧めているのはなぜか。「俺」の両親への思いを踏まえて五十五字以内で書きなさい。

6 一緒に歩けるのはここまでだ とあるが、どういうことか。

- ア 互いの成長のため一切の関わりを絶ち、生きていくこと。
- イ それぞれの目標を達成するまでは、助け合っていくこと。
- ウ 今後の互いの人生に、多くの苦難が待ち受けていること。
- エ それぞれの未来に向かって、自らの力で歩んでいくこと。

5

下の【資料】を参考にして、「言葉」を使用する際に心がけたいことについて、あなたの考えを国語解答用紙②に二百四十文字以上三百文字以内で書きなさい。

なお、次の《条件》に従って書くこと。

《条件》

(Ⅰ) 二段落構成とすること。

(Ⅱ) 各段落は次の内容について書くこと。

第一段落

・【資料】から、あなたが気づいたことを書くこと。

第二段落

・自分の体験(見聞したことを含む)を踏まえて、「言葉」を使用する際にあなたが心がけたいことを書くこと。

【資料】

〈外来語と言い換え語例〉

外来語	言い換え語例
エビデンス	証拠、根拠
コラボレーション	共同制作
サプリメント	栄養補助食品
ツール	道具、手段
バリアフリー	障壁なし
プレゼンテーション	発表
ポジティブ	積極的、前向き
ログイン	接続開始、利用開始

〈会話1〉

生徒A 今度、生徒会で新入生に学校を紹介するリーフレットを作って、プレゼンテーションをすることになったんだ。

生徒B それはすごいね。

生徒A でも緊張するなあ。ミスしたらどうしよう。

生徒B 大丈夫だよ。ポジティブにとらえてがんばろうよ。

〈会話2〉

生徒A 今度、生徒会で新入生に学校を紹介するちらしを作って、発表をすることになったんだ。

生徒B それはすごいね。

生徒A でも緊張するなあ。失敗したらどうしよう。

生徒B 大丈夫だよ。前向きにとらえてがんばろうよ。